

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

- 1 私たちは、地域に開かれた学校にします。
- 2 私たちは、法令等を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許さず、自らを磨きます。

不祥事根絶のための行動計画

福山市立日吉台小学校

| 区分                 | 本校の課題  | 行動目標   | 取組内容  | 点検方法・時期   |
|--------------------|--|--|---|---|
| 教職員の規範意識の確立        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス研修において、通知や新聞記事等の伝達が中心となっている。</li> <li>○不祥事防止に向けたサービス研修を計画的に実施しているが、当事者意識にまで高められていない。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○よりタイムリーな具体的事例を新聞記事等を含めて、資料提供する。</li> <li>○サービス研修の方法や内容等を見直し、より当事者意識が高まるような研修内容や方法を改善し、研修効果を実感できるようにする。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○5S「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「習慣」の徹底をする。</li> <li>○全ての教職員を対象にサービス研修に係るアンケート調査やチェックリストを定期的実施し、自己を振り返らせる。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に1回、サービス研修についてのアンケート調査、チェックリストを行う。</li> </ul>                                       |
| 学校組織としての不祥事防止体制の確立 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ともすれば教職員個人の技量に依存しがちである。</li> <li>○「報告」「連絡」「相談」の徹底をしているが、たまに遅れがある。</li> <li>○不祥事防止委員会のさらなる機能化を図る必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。</li> <li>○「報告」「連絡」「相談」の徹底し、迅速・確実な対応をする。</li> <li>○業務改善を進め、教職員の負担軽減を図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学年会や各部会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。</li> <li>○迅速・確実な対応を組織的に進める。</li> <li>○教職員間の円滑なコミュニケーションづくりや課題を共有した支え合いを図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回、企画運営委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</li> <li>○不祥事防止委員会・体罰セクハラ防止委員会で、情報交換・状況把握する。</li> </ul> |
| 相談体制の充実            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知をしているが、認知度が低い。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だよりで保護者等に周知するとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。</li> <li>○スクールカウンセラー事業の活用を推進する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</li> <li>○児童に対する年3回のアンケート及び面談</li> </ul>             |